

## ～ ある日の鬼瓦物産(ファンシー雑貨販売業)その6～

### 『やる気の違いを見せつけてやる！』

- ハル税理士法人  
夏川秋美担当 はい。OKです。今日も間違いはありませんでした。  
くさたべさん。最近、ミスなくなりましたね。何か、あったんですか？
- くさたべ君 そ、そうかな～？別に何にも無いけど……(モジモジ)。ねえ、夏川さん。  
前に言ってたパソコンで経理やるのって難しいの？伝票とか仕訳とかってやつ？
- 夏川秋美担当 いえ、簡単ですよ。一寸だけ覚えなれない事ありますけど。
- くさたべ君 それって僕が正しく入力したら、会社が赤字か黒字か夏川さんに聞かなくてもわかるの？
- 夏川秋美担当 はい。わかります。
- くさたべ君 資金の状況もわかるの？いつまで資金が足りるのか？とか、このままだとアブないとか。
- 夏川秋美担当 はい。わかります。
- くさたべ君 つまり、社長の意志決定に必要な経営資料を、僕でも作れるって事？
- 夏川秋美担当 ハイ！必要な資料は自動的に作られますけどね。
- くさたべ君 アキミちゃん！！(秋美の手をとって)お願い、それ、教えて～～～～！
- 夏川秋美担当 ちょっと。ちょっと……くさたべさん。い、痛い。わ、わかりましたから手離して下さい。
- くさたべ君 あー、ゴメン。ゴメン。
- 夏川秋美担当 フ～！痛かった。(キヤー、手にぎられちゃった～。ドキドキ。私、顔真っ赤だあ。)  
どうしたんですか？急に。今迄すすめても全然興味なかったのに……。
- くさたべ君 この前、鬼瓦社長から仕事について教えてもらってようやく「仕事」というものがわかってきたんだけど、同時に、自分がいかに頼りないかも、わかったんだ。
- でも鬼瓦社長はすごいんだ。ウチの会社、決して楽じゃないでしょ。ましてやこの景気だし。でも、社長は何があってもくじけないっていうか、不安もあるのに全然見せないし。逆に僕らが毎日パワーもらって仕事してる位なんだよ。  
俺、少しでもいいから社長の力になりたいくて。
- 経理って 「会社がたくましく生き残るため。」  
「会社の状況を的確に把握して、トップに知らせるため。」  
「次の打ち手を考え将来の不安を少しでも解消していくため。」  
にあるんだよね？俺、その仕事がしたいんだ。
- 夏川秋美担当 すごい！くさたべさんじゃないみたい。(やばい。私、この人の事、好きになりそう。)  
わかりました。私、お手伝いします。
- くさたべ君 ありがとう。俺、ガンバルから。
- 夏川秋美担当 くさたべさん、やる気にあふれてますねえ。どこからそんな元気が出てくるんですか？
- くさたべ君 夏川さん、覚えておいて。「やる気ってのは自分で出すもんなんだよ。」
- 夏川秋美担当 ひゃー。くさたべさんカッコイイ。(や、やばい。今、マジで私スイッチ入った。。。)
- くさたべ君 よーし。オレはやるぞ。やってみせる。やる気の違いを見せつけてやる。

## ～ ある日の鬼瓦物産(ファンシー雑貨販売業)その6～

---

～その頃、デザイン部の美樹は鬼瓦社長と二人っきりでいた…… 誰も知らない場所で。～